

横浜赤レンガ倉庫が中心となってそこに集う様々な人びとと“+α”を生み出すプロジェクト「RedBrick Hub」から実現

ありあけ×UNI COFFEE ROASTERY がコラボした特別メニュー『ハーバーアフォガート』誕生!

< 2023年3月1日(水)～5月7日(日)の期間限定で販売 >

「横浜赤レンガ倉庫」では、“横浜を代表する観光スポットとして、多くの方が行き交うこの空間をうまく活用しながら、横浜をもっと盛り上げたい!”という想いから、2022年12月のリニューアルオープンを契機として、横浜赤レンガ倉庫が中心となって、そこに集う様々な人びとと“+α”を生み出すプロジェクト『RedBrick Hub』を発足。

このプロジェクトから「横浜赤レンガ倉庫」に店舗を構える、横浜の銘菓“ありあけハーバー”を販売する「ありあけ」と、株式会社GRACEが運営し、近年横浜エリアを中心に店舗展開している「UNI COFFEE ROASTERY」のコラボが実現し、横浜赤レンガ倉庫限定の特別メニュー『ハーバーアフォガート』を開発。この度、期間限定で販売することが決定しました。



<コラボメニューイメージ>

UNI こだわりのコーヒーのおいしさをハーバーにギュッと閉じ込めた、横浜の新たな一品

『ハーバーアフォガート』販売情報



- 販売価格：780円(税込)
- 販売期間：2023年3月1日(水)～5月7日(日)
- 販売場所：横浜赤レンガ倉庫1号館1F「UNI COFFEE ROASTERY」
- 販売時間：9:00～20:00(L.O. 19:00)
- 特徴：軽く、フルーティーな味わいが特徴のUNI COFFEE ROASTERYのコーヒーにハーバーを浸して、オーブンで焼き、バニラアイスクリームを添えてご提供。砕いたカカオビスケットとバニラの上にはコーヒー豆のパウダーをトッピングし、さらにハーバーには別添えのエスプレッソをかけてお召し上がりいただけます。甘味と苦みのバランスが絶妙で、様々な食感が楽しめる一品です。

<この件に関する一般の方のお問い合わせ先>

横浜赤レンガ倉庫2号館 インフォメーション 電話：045-227-2002(代)

●ありあけ ご担当者コメント

1954年登場の「ありあけハーバー」は、「感動をお届けする」という理念に基づき、伝統的に受け継がれてきた熟成製法が要です。この度実現したUNI COFFEE ROASTERY様とのコラボレーションスイーツは、想像していた以上にハーバーを引き立ててくれるコーヒーとのマリアージュで、必ずや皆様に美味しさと感動をお届けしてくれるものと信じております。



ありあけハーバー/横浜赤レンガ倉庫 1号館 1F「ヨコハマズベストコレクションⅡ」内

横浜で産声をあげて60年あまり。

港・ヨコハマの船をイメージし伝統の製法で焼き上げた贅沢なマロンケーキ。

薄くソフトなカステラ生地刻んだ栗を入れた自家製ハーバー餡をやさしく包み込み、

しっとりとした食感と口に広がるマロンの味わいが絶妙な一品です。

船と港町横浜を愛してやまない柳原良平画伯でお馴染みのオリジナルパッケージで、

船のイラストは2009年3月横浜港に初入港した客船「クイーン・メリー2」を描いたものです。

●UNI COFFEE ROASTERY ご担当者コメント

この度、横浜を代表する観光スポットである横浜赤レンガ倉庫で、横浜銘菓「ありあけハーバー」を販売する株式会社ありあけ様とコラボレーション商品販売の機会をいただき、大変光栄に思います。本商品は上品なマロンの味わいが特徴の「ありあけハーバー」の風味を最大限に生かしたものに仕上げしております。この機会をお見逃しなく、ぜひご賞味ください。



UNI COFFEE ROASTERY/横浜赤レンガ倉庫 1号館 1F

横浜エリアを中心にそれぞれ異なるコンセプトで店舗展開しているUNI COFFEE

ROASTERY。赤レンガ倉庫らしさを活かした、ブルックリンスタイルの空間でこだわりのコーヒー

や赤レンガ限定のメニューをご用意しております。ご家族やご友人と、テイクアウトメニューも

様々なシチュエーションでお楽しみいただけます。

横浜赤レンガ倉庫では、地域活性化につながるサステナビリティ活動を推進

株式会社横浜赤レンガは、「笑う、サステナブル」をコンセプトに、さまざまなサステナビリティ活動を推進しています。地球環境と横浜赤レンガ倉庫に訪れるお客様が重要なステークホルダーであると認識し、事業活動を通じて持続可能な社会の実現を目指します。その中で、横浜赤レンガ倉庫が中心となって、そこに集う様々な人びとと“+α”を生み出すプロジェクト『RedBrick Hub』を発足。今後も横浜赤レンガ倉庫を起点とする様々なコラボレーションを実現し、横浜を盛り上げて参ります。



サステナビリティの4つの重点項目（マテリアリティ）

- ① 地域を活性化すると、街が笑う
- ② 集う人が協力し合うと、地球が笑う
- ③ テクノロジーを活用すると、未来が笑う
- ④ 働き方を変えると、人が笑う

『RedBrick Hub』

“横浜を代表する観光スポットとして、多くの方が行き交うこの空間をうまく活用しながら、横浜をもっと盛り上げたい！”という想いから、2022年12月のリニューアルオープンを契機として、横浜赤レンガ倉庫が中心となって、そこに集う様々な人びとと“+α”を生み出すプロジェクトとして発足。今後も横浜赤レンガ倉庫を起点とする様々なコラボレーションを実現し、横浜を盛り上げて参ります。